

業 種	トラック
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用
テ ー マ	「なぜなぜ分析」等を用いた事故の根本原因究明と再発防止策
取組の狙い	事故の根本原因を究明し、再発防止策の策定に役立てるとともに、危険箇所マップ詳細情報の作成等により再発を防止する。
具体的内容	<p>1. グループ計約 4,000 台の運行車両に発生した全ての事故について、「事故速報」として、携帯電話及び社内 LAN を通じ、60 分以内に事業所から安全統括グループを通じて経営トップまで報告されます。</p> <p>注：上記事故には、交通事故のみならず、運搬する液体製品が少量でも漏れれば、事故として含まれます。</p>  <p>2. 事故惹起事業所においては、「なぜなぜ分析」等の手法を用いて根本原因の究明と再発防止策の策定を行うとともに、必要に応じ「危険箇所マップ詳細情報」を作成し、事故再発防止会議を開催して当該事業所内の情報共有を図っています。</p> <p>事故を起こした者に対しては、所定のプログラムによる教育訓練を行い、その結果を見極めた上で、再乗務を認めています。</p> <p>3. また、当該事故情報については、事故調査報告書として本社に報告され、本社の安全統括グループにおいて必要に応じ再発防止策の追加や修正等の指示を行っています。また、これらの情報はすべてデータベースとして社内 LAN に蓄積・公開し、全社的な情報共有が可能となっており、生きた事例として個々のドライバー教育に活用されています。</p> <p>さらに、対策の有効性について、事故惹起者の事故分析や全社的な事故統計により検証しています。</p>
取組の効果	上記取り組み及び安全性向上を目的とした機器（後方監視カメラ等）の導入などを通じて、多くの事業所において、有責の第 1 当事者となる交通事故が発生しておらず、このため、76 の事業所のうち 65 の事業所が、(社)全日本トラック協会が実施する安全性優良事業所の認定を受けています。
事業者名	(株)ニヤクコーポレーション (連絡先：安全統括グループ、電話 03-3438-0186)

【参考】 なぜなぜ分析法とは

注:本事例は(株)ニヤクコーポレーションとは関係有りません。

C社（トラック） 左折時の歩行者との衝突事故

【事案の概要】

ドライバーCは、左折するため青信号で交差点に進入したところ、電柱の影から飛び出してきた歩行者と衝突した。

【事故当時の状況】

- ・ 事故発生：21時
- ・ 天候：雨
- ・ ドライバーCは、配送先への到着時間に遅れそうだった。
- ・ ドライバーCは新人で、この地域の地理に慣れておらず、地図を確認しながら運転していた。
- ・ 歩行者は、雨のため傘をさしていた。

